

# 松矢 美夢 さん

小学校教育課程 国語教育コース

大阪市（小学校教諭）内定

大阪府立市岡高等学校出身



## ■ 学校種を目指したきっかけ

最初は中学校の国語教員を目指していましたが、インターンシップや教育実習で小学校の現場に触れる中で考えが変わりました。小学校では多くの教科を通して子どもたちが活躍する姿を見ることができ、さまざまな面から子どもの可能性を引き出せることに魅力を感じました。また、授業以外の休み時間など、一日を通して子どもと深く関わる中で、共に成長していきたいと思いました。

## ■ 大学での学び・教育実習での経験

大学での学びの中で最も印象に残っているのは模擬授業です。二年次にはグループで模擬授業を行い、授業を進めるうえでの基本を身に付けました。うまくいかないことの方が多くありましたが、新しいことに積極的に取り組んだ経験は、三年次以降の個人で行う授業づくりに確かな力としてつながりました。

教育実習では、「子どもを知ることの大切さ」を強く実感しました。特に小学校での実習では、担当の先生から「一週間で36人全員の顔と名前を覚えなさい」と言われ、実際にテストもありました。最初は覚えられるか不安でしたが、休み時間に積極的に子どもたちと遊んだことで、一人ひとりの特徴をつかみ、自然と名前を覚えられるようになりました。

また、授業中の子どもたちの様子にも違いがあり、いつも手を挙げる子、考え込んでしまう子など、さまざまな姿が見られました。授業をよく観察することで子どもの特徴を理解し、自分が授業を行う際にもその気づきを活かすことができました。

これらの経験から、「子どもを知る」という教育の根本を大切にし、担当する子どもやクラスに合わせた指導ができる教師になりたいと感じています。

## ■ 採用試験でのアピールポイント

採用試験では、何事にも一生懸命取り組む「勤勉さ」を強みとしてアピールしました。

私は一年次から続いているガイドヘルパー活動（知的・精神障害のある方のお出かけ支援）や、

中学1年生から続ける吹奏楽部での活動経験を通して、困難な場面でも柔軟に対応し、精一杯行動してきたことを面接で伝えました。

## ■ 教職センターでのサポート

教職センターでは、個人面接対策をはじめ、大阪市の二次試験に必要な場面指導の練習や、他自治体で求められる模擬授業の対策など、さまざまなサポートを受けました。

また、3年次には受験する自治体を迷っていた際に相談に乗っていただいたり、教師養成講座での集団面接対策をしていただいたりと、本当に多方面から支えていただきました。

教職センターの先生方とお話しする中で、自分の中にある「理想の教師像」を具体的に思い描けるようになり、その姿に近づくために何をすべきか、どのように動くべきかを明確にすることができます。こうした経験は、教師になった自分をイメージする大きな力となりました。

## ■ 目指す教師像

子ども一人ひとりの強みを引き出せる教師になりたいと考えています。勉強が得意な子だけではなく、絵を描くことが得意な子、みんなの前で話すことが得意な子、走ることが好きな子など、子どもたちはそれぞれ異なる力をもっています。だからこそ、自分の得意や強みを自分で認識し、伸ばしていくような子どもを育てたいと思うようになりました。

そのためには、まず子どもをよく知ることが大切です。一人ひとりの姿にしっかり向き合い、子どもとともに成長していきたいと思います。

## ■ 後輩へのメッセージ

教員採用試験では今までの経験が実を結ぶと思ってあきらめず頑張ってほしいです。教員採用試験の対策期間だけでなく、学生生活が始まったその瞬間から経験値は積まれていくと思います。部活やバイト、ボランティアなど、たくさんのことに対戦して、たくさんの困難をのりこえるからこそ力はついていきます。教採では苦手なことに向き合いながらも、自分の強みにも気づけるそんな期間です。どうか最後まであきらめずにかんばってください。